



10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |  |
|----------------------|--|
| ○当事者A                | 年齢[ 37 ]歳、勤続年数[ 15 ]年、現場経験年数[ 10 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 過去に1,2回程 ]、任務 [ 隊員 ]  |
| ○当事者B                | 年齢[ 34 ]歳、勤続年数[ 15 ]年、現場経験年数[ 10 ]年、階級[ 消防士長 ]、同様の活動 [ 過去に1,2回程 ]、任務 [ 機関員 ] |
| ○当事者C                | 年齢[ 38 ]歳、勤続年数[ 18 ]年、現場経験年数[ 15 ]年、階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 過去に1,2回程 ]、任務 [ 車長 ] |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |  |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした                                 | その他・備考など |
|------|-------|---------------------------------------|----------|
| 経過1  | 当事者B  | 緊急走行中、前方に事故現場を確認した。                   |          |
| 経過2  | 当事者A  | B同様に前方に事故現場を確認した。                     |          |
| 経過3  | 当事者C  | 必要資器材準備完了後前方の状況を確認した。                 |          |
| 経過4  | 当事者C  | 事故現場の交差点に差し掛かったところで誘導人を発見し機関員に停止を命じた。 |          |
| 経過5  | 当事者A  | 当事者Cの命令によりブレーキをかけ誘導人の前で停車した。          |          |
| 経過6  |       |                                       |          |
| 経過7  |       |                                       |          |
| 経過8  |       |                                       |          |
| 経過9  |       |                                       |          |
| 経過10 |       |                                       |          |

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？  
 ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

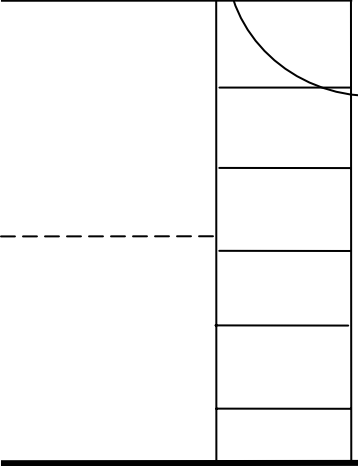
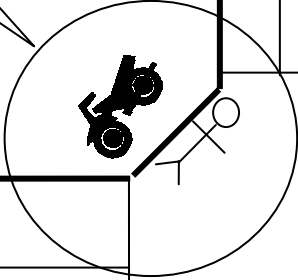
|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

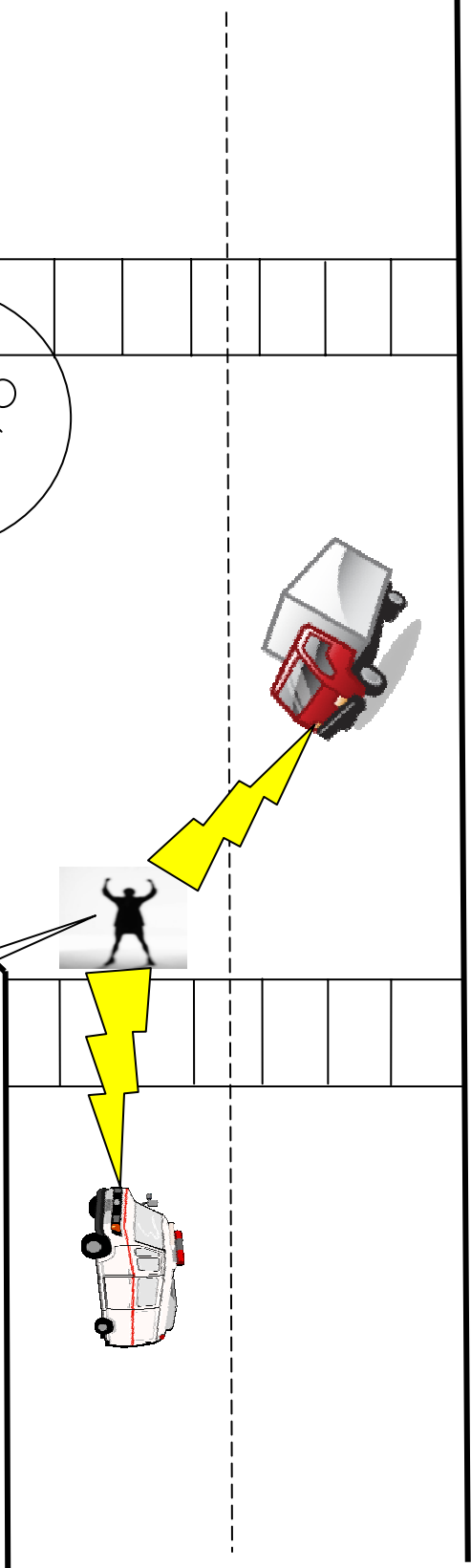
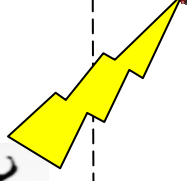
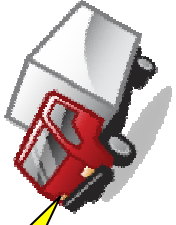
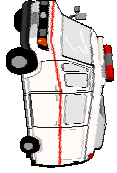
l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

事故現場



誘導人



・発生日時 : 平成21年3月 日 午後11時頃

| 経過    | 現場の状況   | 隊員A   | 隊員B  | 隊員C  | 備考   |
|-------|---|---|--|--|--|
|       |   | 車長／消防司令補<br>・年齢 38 歳<br>・勤続 18 年<br>・現場 15 年<br>・同様の活動:過去に1,2回程 | 隊員／消防士長<br>・年齢 37 歳<br>・勤続 15 年<br>・現場 10 年<br>・同様の活動:過去に1,2回程 | 隊員／消防士長<br>・年齢 34 歳<br>・勤続 15 年<br>・現場 10 年<br>・同様の活動:過去に1,2回程 |  |
| 出動指令  | 事故現場への出動指令  |   |  |  |  |
|       |   | 緊急走行にて、現場へ向かう   |  |  | 事故への救急出動   |
| 出動途上  |   |   | 緊急走行中、前方に事故現場を確認した   |  | 前方に事故現場が確認できたため、そちらにばかりを注視してしまった<br><br>前方に事故現場が確認できたため、そちらにばかりを注視してしまった。また対向車のヘッドライトに誘導人が入り込み、直前まで道路上に誘導人がいることを確認できなかった |
|       | 必要資器材準備完了後前方の状況を確認した<br>↓<br>事故現場の交差点に差し掛かったところ<br>↓<br>誘導人を発見<br>↓<br>(機関員に)停止を命じた |   |  |  |  |
| 現場到着  |   |   | 隊員Aの命令によりブレーキ  |  |  |
| 活動降初期 | 誘導人の前で停車  |   |  |  |  |

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？  
 ○直接的な原因:行動の意志決定に問題があった。  
 ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因  
 (心理・体調について)  
 ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。  
 ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。  
 (活動環境について)  
 ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。